

京王電鉄京王線（笹塚駅～つつじヶ丘駅間）連続立体交差化及び複々線化事業 に係る環境影響評価書に対する環境大臣意見

本事業は鉄道施設の改良事業であり、京王電鉄京王線の笹塚駅から仙川駅間にて高架構造で連続立体交差化させる事業、及び笹塚駅からつつじヶ丘駅間にて地下構造で新たに線路を設置して複々線化させる事業の2つの事業からなる。連続立体交差化により25か所の踏切を除去し、交通渋滞の解消、鉄道・道路の安全性向上、鉄道により分断されていた地域の一体化を図るとともに、複々線化により鉄道輸送サービスの向上を図るものである。

本事業の計画路線周辺は、住居系の土地利用となっており、病院や学校等も多く存在することから、騒音や振動等の影響をできる限り低減させるよう、以下の措置を適切に講ずる必要がある。

1. 騒音・振動

(1) 列車の走行に伴う騒音について

仮線及び供用後の列車走行に伴う騒音について、計画路線周辺に中高層住宅等が存在することに鑑み、高さ方向の影響について調査・予測を行っており、先行的な取組事例であるといえる。

事業の環境影響をより丁寧に情報提供する観点から、これらについて評価書に明記するとともに、実行可能な範囲内でできる限りの回避又は低減に努めること。

(2) 列車の走行に伴う振動について

供用後の列車走行に伴う振動について、環境保全措置として「防振地中壁の設置」を行う地点があるが、効果に係る知見が不十分な環境保全措置であることから、事後調査を実施してその低減効果を確認するとともに、必要に応じ追加的措置を検討すること。

(3) 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に伴う騒音について

道路騒音について、要請限度だけでなく環境基準についても評価を行うこと。なお、現況値で環境基準を超えている地点については、工事用車両の運行に係る騒音が現況値に与える影響の程度、及び、実行可能な範囲内でできる限りの回避又は低減がなされているか等の観点から評価を行うこと。

2. 景観・人と自然との触れ合いの活動の場について

計画路線と玉川上水が直交する場所について、高架橋が圧迫感を与える可能性があるため、フォトモンタージュの作成等によりその影響を予測・評価するとともに、必要に応じ、材質や色彩への配慮等の環境保全措置を検討すること。

3. 温室効果ガス

建設段階における二酸化炭素排出削減のため、低燃費型建設機械やLED照明の使用等を検討すること。また、効率的な施工の実施が建設機械等から排出される二酸化炭素排出量の削減に資することから、地域特性等を踏まえ、二酸化炭素の排出削減等に留意しつつ、効率的な施工計画を策定するよう努めること。

さらに、供用時においても太陽光発電システムの導入や駅施設の省エネ化等の二酸化炭素排出削減対策の導入を検討すること。

以上について、その旨を評価書に記載すること。